

著作権を知れば、音楽がもっと好きになる。

足立区立青井中学校 音楽科 原口 直

1. 教育活動の背景・ねらい

中学校学習指導要領（文部科学省）は今年度から完全実施となっている。今回の改訂では重要事項として、情報の活用、情報モラルなどの情報教育を充実させることが明記されている。

さらに、中学校学習指導要領音楽解説書（文部科学省平成 20 年 9 月）の各学年の「A 表現」及び「B 鑑賞」には、授業の中で表現したり鑑賞したりする多くの楽曲について、それを創作した著作者がいることや、著作物であることを生徒が意識できるようにすることが示されている。

ねらいは生徒がこれから正しく楽しく音楽と接するために、著作権や著作隣接権の存在を知って深め、自らの生活に活かそうとする態度を養うと設定した。

※今回、「肖像権」については本報告の主旨と異なるため、触れない。

2. 教育活動前の生徒の状況

生徒が音楽を楽しむ手段として、パソコンや携帯電話、ウェブを使用する機会が増えている。通信利用動向調査（総務省平成 23 年報告）によると中学生のインターネット利用率は 88.9%となっている。

昨年度本校 2 年生に「音楽の楽しみ方に関するアンケート」を実施し、音楽を得ようとする時の方法や意識をどれくらいもっているのかを調べた。結果は下記表にあるように「音楽を iPod や CD, MD に自分のために録音したことがある」は 46%にのぼるが、「お金を払って買ったことがある」は 30%にとどまる。また、「『著作権』という言葉聞いたことがある」が 83%だが、「わかる」は 26%にとどまり、聞いたことがあっても内容がわからないという実態が明らかとなった。これにより、さらに著作権の知識をつけることが必要だと感じた。

音楽の楽しみ方に関するアンケート（平成 22 年度 2 年生 54 名）			
1	音楽をパソコンや携帯電話でお金を払って買ったことがありますか。	ある 30%	ない 70%
2	音楽を iPod や CD, MD に自分のために録音したことがありますか。	ある 46%	ない 56%
3	音楽を iPod や CD, MD に家族以外の人のために録音したことがありますか。	ある 19%	ない 81%
4	「著作権」という言葉を聞いたことがありますか。	ある 83% (うち「わかる」26%)	ない 15%

3. 教育活動の評価基準※昨年度の評価基準

観点①関心・意欲・態度	観点②音楽表現の創意工夫	観点③音楽表現の技能	観点④鑑賞の能力
・内容に関心を持ち、知識を得ようとする。 ・グループ作業に積極的に参加する。	・知識を自分の生活や社会と照らし合わせ、生活に活かすことができる。	・得た知識や自分の意見をまとめ、言葉で表現しようとしている。	この單元では、該当項目なし

4. 教育活動の内容・流れ

ねらい：生徒がこれから正しく楽しく音楽と接するために、著作権や著作隣接権の存在を知って深め、自らの生活に活かそうとする態度を養う

流れ：

	学習活動	留意点	評価
導入 (5分)	・導入鑑賞『フライングゲット』AKB48 ・同曲がレコード大賞を受賞した事を再確認	・授業内容に関わる教材であることを伝える。	観点①
展開 (35分)	○ワークシート①配布 ・2011年のCD売上ランキング ・著作隣接権、歌唱印税について ・著作権、著作隣接権 CD制作に関わる人、会社の知識 『フライングゲット』に照らし合わせる ☆権利を侵害することは、CD制作をさまたげることにつながることを認識させる。 ・知的財産権に関して、自分の生活に照らし合わせる。 (中略：肖像権について) ○ワークシート②CDしらべ(グループ活動) ・班ごとに配布されたCDから関わっている人や会社の情報を読み取る。	・細かな質問を生徒に投げかけ、参加意欲を高める。 ・適宜、言葉の補足を入れる。 ・不法であっても咎めたり指導したりことはないと思わせる。 ・読み取るべき情報の場所を適宜助言する。	観点① 観点② 観点② 観点①②
まとめ (5分)	・「この授業を通して得た知識」「これから気をつけたいこと」を記入しまとめる。		観点③

5. 教育活動の効果

[教育活動中の様子]

生徒の興味を引く具体的な楽曲や数値を取り上げたことで、生徒の関心・意欲を引き出すことができた。実際の金額を提示することで「すごい金額だ。」「創る人の方が多くお金がもらえる。」などの素直な発言を生徒から引き出すことができた。

[教育活動の効果]

ワークシートの感想をまとめると、下記のとおり大別される。

〈知識会得による効果〉

「このように多くの人に関わっていると思わなかった」というように、音楽を取り巻く職業や人・環境を改めて考え直すことによって、CD 1枚が 1000 円であることの対価を意識し、納得して考えることができた。

〈意識の効果〉

中学生になるとひいきの歌手に大きな関心を寄せたり、興味を深く持ったりする生徒が男女とも出てくる。その中で「著作権を守ることが、歌手を守ることにつながるとわかった。」と好きな歌手の活動を支えたいという気持ちが著作権を守ることにつながり、決まりを納得して守る意識がついたようだ。

また「今まで違法なことをしていました。今日の授業でわかったのもうしません。」と正直に書く生徒もいて、授業内だけにとどまらず実生活に落とし込むことができ、成果を感じた。

〈問題提起〉

授業で全体の場で発言しづらかった生徒が「このような場合は、違法でしょうか。」と個別に聞いてくる行動が見られた。自分の行為が法律とてらしあわせた時に、許されるのかという倫理観を持てた成果だと思う。

6. 成果と課題

[成果]

今回の授業をするにあたって、著作権についてももとの認知度が高いことがまずうれしかった。前述した効果にもあるように、様々な観点での成果があらわれたように思う。

[課題]

生徒を取り巻く環境や著作権に関する認知度や関心の高さに、自分も含めた教員が必ずしも追いつけていないのではないかと感じた。まずは、著作権そのものや ICT 機器の知識をもっと深めなければならない。それを踏まえれば、生徒の実態に応じた、関心をひく授業を展開することができる。

また、中学生という発達段階において著作権の意識や知識はもっとも適していると感じられる。担当教員が教科ごとであるという特性も生かして、特に国語科・社会科・音楽科・美術科・技術科が中心となって横断的教科活動ができるのではないかとと思う。

音楽って、いくら？ 2年 組 番 氏名 []

◆2011年度のCD売り上げ1位だったアーティストは []

フライングゲット 158.7万枚
 Everyday, カチューシャ 158.6万枚
 風は吹いている 141.8万枚
 上からマリコ 119.8万枚
 桜の木になろう 107.9万枚

上位5曲で
 []万枚の
 売り上げを記録した!!

◆歌う人は、いくらもらえるの？

歌手はCDの価格の約 []%をもらえる。

『フライングゲット【劇場盤】』は¥1,000なので、単純計算するとAKB48は全員で []円、150万枚売れたので、 []円もらえる。

◆その他のお金は、何に使われるの？

『フライングゲット』の場合…CDを作るのに関わる人は、どんな人？

役割	職業	『フライングゲット』の場合
① []人	歌手 バンド	[A] ギター・ドラムなど
② []人	作詞者 作曲者	[B] [C]
③ []人	レコード会社	キングレコード
④ []人	音楽出版社	株AKS
⑤ []人	CDショップ	[D]
⑥ []人	運送屋	佐川急便、クロネコヤマト？

①～⑥の空欄をうめよう。
 [選択肢]
 CDを作る・音を作る
 売る・運ぶ
 管理する・曲を作る

CDの値段はそれを作成する様々な人に対するお金です。
 決まりを守らないと、次のCDを作れなくなったり、法律違反になり罰せら

◆これは大丈夫？

やっていいことなら○、法律に違反していることは×を書き入れ、自分の考えを書きましょう。

質 問	○×	自分の考え	答えとメモ
問1 借りたCDをダビングして家族で聴いた。			
問2 借りたCDをダビングして友達に渡した。			
問3 合法の曲をYouTubeからiPodに入れた。			
問4 授業で使うためにCDをコピーした。			
問5 公式(オフィシャル)でないアイドルグッズを売った。			

違反すると10年以下の懲役、又は1000万円以下の罰金